

2020

明日は歯科検診です。(1~3年生、9時から)朝ごはんを食べたらしっかり歯を磨いて来てくださいね。密に
ならず安全に検診ができるよう工夫しています。器具は380本、校医さんに滅菌してもらい準備完了です。



大江の風



9月24日
No.98

今日は5年生はわくわく白川ランド行きでしたが、向こうの先生方が「雨が降っているから活動の満足度を考え延期しましょう」と言ってくださいました。今日は急に時間割が変更になりましたが、しっかり学習していましたね。さすが5年生で

マスクの弊害

今朝はとても涼しかったですね。マスクをつけていても、あまり息苦しくなくなりました。マスクといえば、9月初めごろの新聞に「横断歩道渡る意思、明確に マスクで表情隠れ事故懸念」という記事がありました。新型コロナウイルスの影響でマスク着用が広がったため、車のドライバーが歩行者の表情を読み取れず交通事故多発が懸念されるとして、警視庁が「横断セーフティーアクション」と題し、手を上げるなど道路を渡る意思表示を明確にするよう呼び掛けているそうです。警視庁によると、今年横断歩道を横断中に交通事故で死亡した歩行者が昨年同期と比べ増えているとか。つい先日、実は熊本市内でも横断歩道を横断中、児童が車と接触した事故がありました。アクションとは、(1)渡る前に顔を車の方向に向ける (2)手を上げる (3)横断歩道の手前で足を一步踏み出し渡る意思を伝えるです。これはいつも子どもたちに言っている「危険予測回避能力」です。マスクで表情が見えない分、意思表示をちゃんと示さないと危険が及びます。マスクの弊害です。

他にもマスクの弊害があります。それは挨拶です。交通指導に立っていても、以前に比べ、なかなか気持ちのよい挨拶ができていない人が多いように感じていました。「やっぱり前より挨拶はへたになったよね〜」と職員と話していました。しかしある時ふと思いました。私自身は子どもたちにどう映っているだろう。子どもたちにちゃんと気持ちのよい挨拶が伝わっていたのかな？自分では、前と同じように笑顔で伝えているつもりでした。マスクをつけていると、目しかわかりません。目で伝えることができていたかなと思いました。そして、1週間くらい前に、もっと声をはって挨拶を試みようと思い、実践してみました。そしたらなんと、子どもたちは、ちゃんと目を合わせてよい挨拶をかえてくれるではありませんか。そう、私の挨拶が伝わってなかったのです。ごめんなさいね、子どもたち。私の挨拶もへたくそだったね。これもマスクの弊害。反省しました。

交通安全も挨拶も、目を合わせるってとても大事だと思いました。目が合わせたら、言葉は聞こえなくても会釈でも気持ちいい挨拶になりますね。

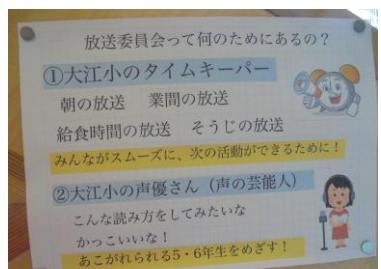
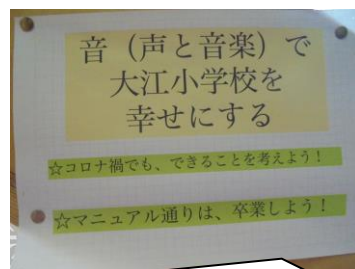
すごいぞ！放送委員会

今、15分の業間休み時間に、「1・2年生の放送体験」があります。面白い取組ですね。そもそも委員会活動とは、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための活動を分担して行います。高学年の全児童による活動を通して、異学年の児童の人間関係を形成したり、社会参画の態度を育てたりという教育的な意義があります。子どもたちの発意・発想を生かし、創意工夫するなど、自主的・実践的に取り組むことが大切です。

今回の取組は、1・2年生もとても喜んで参加していました。「業間放送体験申し込みカード」に名前を書いて箱に入れ、当たったら放送委員会さんに代わって放送ができるのです。今日は1年生が1人、2年生が2人体験者に選ばれていました。最初は緊張する〜〜と言っていたのですが、リハーサルをしたらバッチリでしたので、自信をもって本番に臨みました。放送委員さんが優しく指導していた姿にも感動しました。体験した子どもたちは、上手にアナウンスできて、とても満足していましたよ。高学年になったら放送委員会に入りたいて思ったのではないのでしょうか。



まずは体験者の緊張をほぐして笑顔にしてくれましたね。そして放送の仕方などを優しくおしえてくれました。素敵なお上級生たちです。



放送室にはあってありました。「音(声と音楽)で大江小学校を幸せにする」とても素敵な目当てですね。放送委員会さん、いつも大江小のタイムキーパーとしてもがんばってくれて、ありがとうね。